

# 大東市 雨水出水浸水想定区域図 (浸水深)

## 凡例 浸水した場合に想定される水深(ランク別)

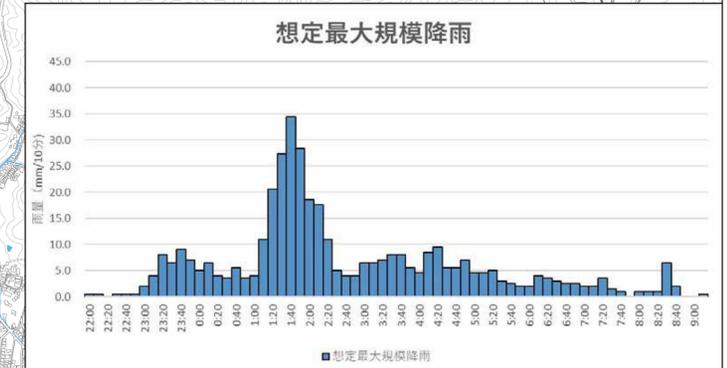
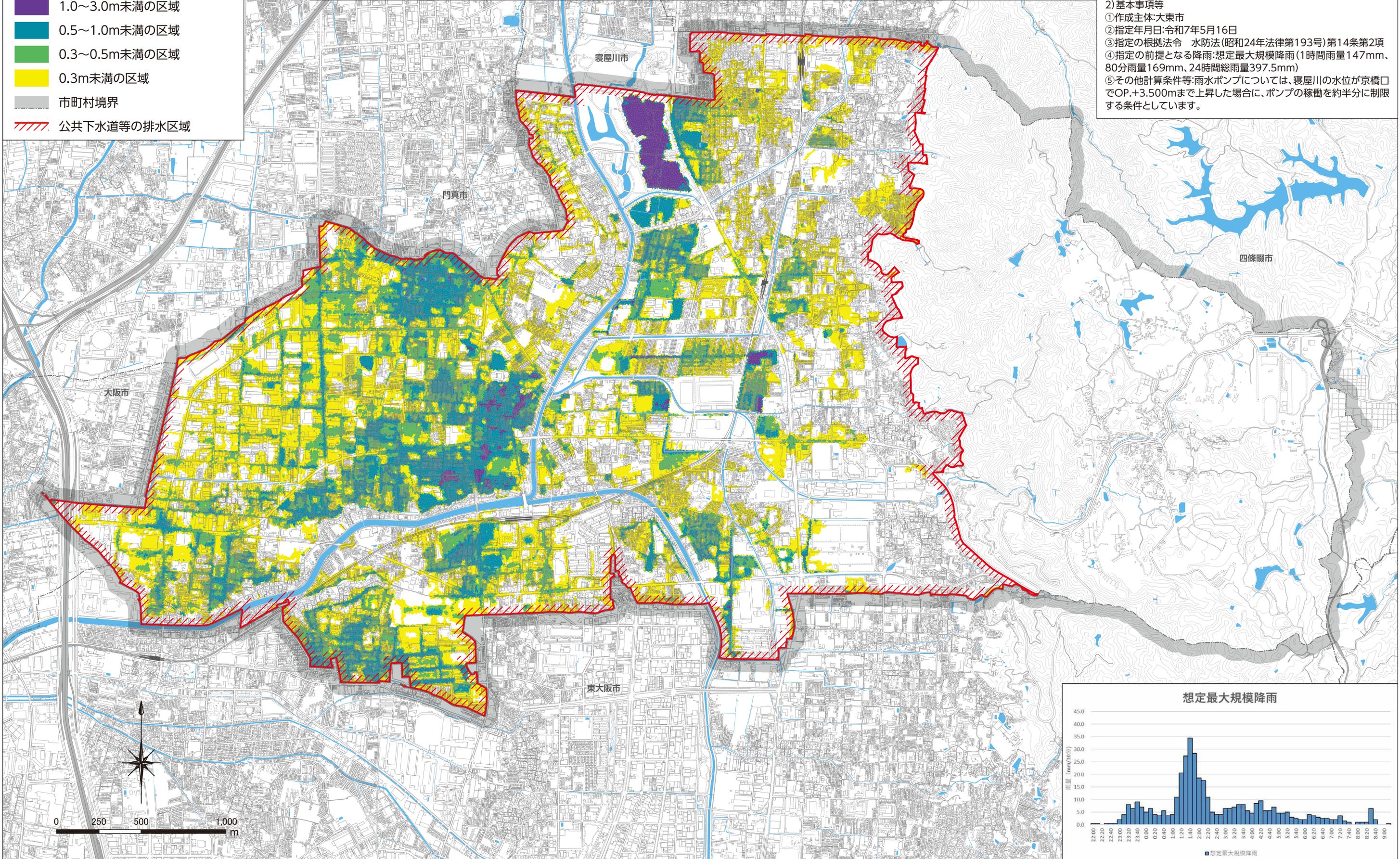
- 1.0~3.0m未満の区域
- 0.5~1.0m未満の区域
- 0.3~0.5m未満の区域
- 0.3m未満の区域
- 市町村境界
- 公共下水道等の排水区域

### 1) 説明文

- この図は、水防法の規定に基づく想定最大規模降雨が降った場合に浸水が想定される範囲やその深さを表したものです。この図で色がついていない場所は、計算上では浸水しない場所です。しかし、雨の降り方によってはこの図に示されていない場所でも浸水する可能性があり、浸水深も深くなる場合がありますのでご注意ください。
- この図は、令和2年度の大東市の下水道の整備状況等を勘案して、想定し得る最大規模の降雨(1時間雨量147mm、80分雨量169mm、24時間総雨量397.5mm)に伴う雨水出水により内水氾濫が発生した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。なお、本市の下水道施設の整備目標として定めている計画降雨(10年に1回程度の頻度で発生する降雨)は1時間雨量54.4mmであり、想定し得る最大規模の降雨はこれを大幅に超えるものです。
- この図において、水防法第14条の2第2項第3号及び第4号の規定により定められた雨水出水浸水想定区域は、公共下水道等の排水区域(赤枠)のうち浸水が想定される区域(着色部)で示しています。
- このシミュレーションの実施にあたっては、洪水(河川の破堤または越水)による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合があります、想定される水深・浸水継続時間が実際と異なる場合があります。
- このシミュレーションは、想定最大規模降雨による浸水を想定するため、排水先の河川の水位を想定される最高水位に設定しています。

### 2) 基本事項等

- 作成主体:大東市
- 指定年月日:令和7年5月16日
- 指定の根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項
- 指定の前提となる降雨:想定最大規模降雨(1時間雨量147mm、80分雨量169mm、24時間総雨量397.5mm)
- その他計算条件等:雨水ポンプについては、寝屋川の水位が京橋口でOP.+3.500mまで上昇した場合に、ポンプの稼働を約半分に制限する条件としています。



この地図は、大阪府の承認を得て、大阪府地籍部DMデータ(2500レベル)を使用して作成したものである。(承認番号 令和5年12月18日付 計画第1538号)